

三勲小だより

令和元年7月5日(金)



<全校朝会の話（7月1日校内放送）>

おはようございます。今日は皆さんにたいへん貴重なものを見せてあげます。

これです。ずいぶん昔のものですね。これは学校日誌と言って今でも先生たちが交代で書いている学校の日記のようなものです。これは今から74年前の三勲小学校の学校日誌です。そしてここは6月29日のページです。

高学年の人は分かりますね。そうです、74年前、日本は戦争をしていました。そして6月29日、相手の国の飛行機が飛んできて、岡山市のちょうど皆さんが住んでいるこのあたりに空からたくさんの焼夷弾という爆弾を落としましたのです。これは岡山空襲と呼ばれます。このあたりの建物はぜんぶ焼けてしまって、約2000人もの方が死んでしまいました。この日誌には「空襲 午前2時頃より4時まで 焼夷弾により被害相当あり 天満屋、天守（岡山城のことです）焼失」などと書かれています。



焼失というのは焼けてしまったということです。この写真のように、岡山は一面焼け野原になってしまいました。（空襲後の市街地の写真を見せる）

岡山空襲の前の日の6月28日のページを見てみましょう。三勲小学校には、1185人の子どもが来ていたことが分かります。きっと楽しく勉強していたのでしょね。子どもの数は今の倍ぐらいです。

岡山空襲の時には三勲小学校にも焼夷弾が落ちました。でも、地域の方が一生懸命にバケツリレーで水をかけたりしてくださって学校は焼けないですみました。ですが、次の日から子どもたちは前のように学校で勉強することはできませんでした。病院も焼けてしまったので、学校は空襲でやけどやけがをした人たちの手当をする場所などに使われたのです。次の日から日誌の子どもの数の所はずっと空欄になっていますね。次に子どもたちが学校に来たのは9月1日でした。学校に来た子どもの数は426人と前の半分以下になっています。きっと空襲で命を落としたりお家が焼けて住むところがなくなってよそに行ったりしたのでしょね。

戦争というのは国と国との争いです。戦争があると、死にたくないのにたくさんの方が死んでしまったり、住むところや食べるものがなくなったりしてみんながとても悲しく苦しい思いをしなくてはなりません。戦争は絶対にしてはいけません。

空襲のあった6月29日を岡山市では「岡山平和の日」として、二度と戦争をしないこと、平和を大切にしていけることを約束しています。6年生の人は岡山市の小学生の代表として6月29日、先週の土曜授業の日に岡山市民会館であった、戦争で亡くなられた方々のための「岡山市戦没者追悼式」に、たいへん立派な態度で参加しました。これから大人になる皆さんには、平和な世界をつくるという大切な役目があります。人と人とが争わないで仲よく暮らすためには、相手の気持ちを考えること、相手と分かり合おうという気持ちが大切です。時には相手を許すことも必要かもしれません。子どもの頃から、いろいろな場面で、皆さんの中にそんな、相手を大切にする心が育っていくことを願っています。

74年前のような悲しいことが二度と起こらないように、戦争のない、すべての人が楽しく安心して暮らせる平和な世界をつくっていきましょう。

